

子どもたちのために頑張りたい!!

ほんきで
取り組み
ます!!

市場原理と教育のあり方

■「勝ち組、負け組」という言葉を耳にするたびに、規制を無くして人々に競争を強いるという考えが潜在的に蔓延しつつあると感じています。今年のある事件をきっかけに市場原理主義が日本人古来の行動基準である情緒や惻隱の情を根こそぎ壊し、経済活動だけではなく、日本文化の美点までもが損なわれつつあると指摘され始めました。歴史を振り返った時、明治期のすさまじいまでの経済成長や戦後の焼け野原からの復興、更には、現在も世界第二の経済大国であり続ける経済力には、賞賛の余地はあっても批判の余地はありません。しかし、時代の変遷と共に、その時々の結果や論理にあまりにもこだわるあまり、日本の国柄や祖国に対する誇りや自信といった精神文化が失われ始めており、戦後60年経った今を生きる私たちに突き付けられた日本の教育のあり方を問う大きな命題であると感じています。

子どもたちには心豊かに育てほしい!!

■将来、この国を支える子どもたちが情緒に富み、心豊かに育っていくためには国語力の向上はもちろんのことではありますが、伝統文化など様々な芸術活動に触れることも大切な要素であると考えます。景気低迷や自治体の財政悪化の中では、文化芸術活動への支援がどうしても先に削られることは容易に推測でき、活動自体が低迷し、ひいては心の豊かさや生きがい失われていくのではないかと改めて本会議の場で警鐘を鳴らすと共に、読書の必要性や芸術文化の振興を要請いたしました。



今治バスケットボール協会会長に就任

平成29年えひめ国体に向けての競技力向上、生涯スポーツの推進、子どもたちの健全育成に取り組みます!!



議員日記 [徳永しげきホームページより]

【今日のその時】 2005年5月6日

朝一番で今治地域地場産業振興センター主催による「地場産品フェア2005」に出席した。ご存知の方も多いと思うが、同イベントは新しくなった今治地域を中心に、広くは県内各地の地場産品を市場より安価で提供することはもとより、多くの市民の方々にその存在にふれていただくことにより、不況にあえぐ地場産業の振興に少しでも寄与したいとの思いで開催されている。

私自身、来賓で招かれて3年目になるが、毎回、困ったことが一つだけある。それはフェアオープニングに当たってのテープカットである。右手にはさみ、左手にテープというのが一般的であるのだが、私は左利きであり、通常右手ではさみを持たない。それゆえと言うか、これまで一回でテープが切れたことがないのがある。お恥ずかしいことではあるのだが…。

今日こそはその思いで、出かける前に右手ではさみを持ち、長男とカットの練習を数回行い、準備万端でその時を迎えた。「それでは、どうぞ」と司会者の声、その瞬間、「あれ、切れない、えっそう！」またである。我が家の安物のはさみとは違い、いかにも高価そうなはさみの割には切れがよくないと思えばいいのだが、使う私が悪いのか、またまた失態を演じてしまった。



写真は「今治せんいまつり2005」

開会式終了後、出店されているおばちゃんに「徳永さん、はさみが入らんかったねえ」と言われ、すっかり、意気消沈。次回はマイはさみ持参で出席しようかと真剣に思うほどである。

(以下、略)

【手】 2006年3月14日

千も 万もの 手が
わたしをきびしく 打ちのめす日と
千も 万もの 手が
わたしをやわらかく つつんでくれる日とがある

いつもながら感じる率直な「思い」です。

昨日、久方ぶりに同世代の若人が集い、酒を酌み交わす機会に恵まれました。

「お前、頑張ってるみたいだけど身体は大丈夫か？ 白髪が増えたんちがう」

「よりこさんに苦労ばかりかけとんやるなあ」

「親父さんは元気か？」

などなど、何気ない会話が本当に心地良く、時間を忘れたひと時でした。

その中のひとり、プロの競輪選手が、「毎日大変かもしれないけど、どんな時にも下を向くなよ！ 胸を張れ、同世代の代表としてかっこ良く生きろ！」

って、とても熱っぽくエールを贈ってくれました。

自分のことはそっちのけ、いつも人のことを気にかけてくれる親友です。こちらからすると、年も重ねてきてお前こそ大丈夫かって心の中ではずいぶん心配しているのですが…。彼と話をしていると私の杞憂を忘れさせるほどの情熱さに吸い込まれ、毎回、元気づけられるのは私の方です。

仲間という「手」が今日の私を支えてくれる。明日の私に勇気を与えてくれる。そんな仲間に関心からありがとう。